

600字物語013

ラブラブハッピー06

猫団子

作者：エリー

登録日：2020/01/22

なにに、何の写真見せてくれるの？

コレハ・・・猫団子！？

あなたって本当に猫が好きなのね。

そうだ。わたしたちもやりましょう。猫団子ごっこするの。

手順を話すから聞いてね。

まずあなたがお布団に座って足をのばす。

続いてわたしがあなたの膝にちょこんと座る。重くない？ 重さを楽しむの？(笑)

で、わたしがあなたをムギュってする。

あなたのうなじの匂いをクンクンする。

それからあなたにぺちよっとくっついたまま体温や筋肉の動きを体で感じる。

ここにいるのね。

わたしが独占しているのね。

そんな気持ちをリフレインしてどんどん幸せになっていく。

おーけー？

じゃあはじめるよ～。

あなたの体って弾力あってもちもちだね。

いい匂い。遺伝子遠いといい匂いなんだって。体つきも感じ方も似てないもんね。

だんだん楽しくなってきた。

あ、もう2時！

1時間も経ったのね。

楽しかったね。

夕飯の買い物に行かなくちゃ。

今日も荷物持ってくれるの。嬉しい。

また猫団子ごっこしようね。

うん、幸せだよ。